

2017年3月期第2四半期 決算説明会

2016年10月28日

株式会社トプコン

代表取締役社長 平野 聡



2017年3月期第2四半期 決算説明会

I

2017年3月期第2四半期決算報告

II

2017年3月期通期計画

III

参考資料

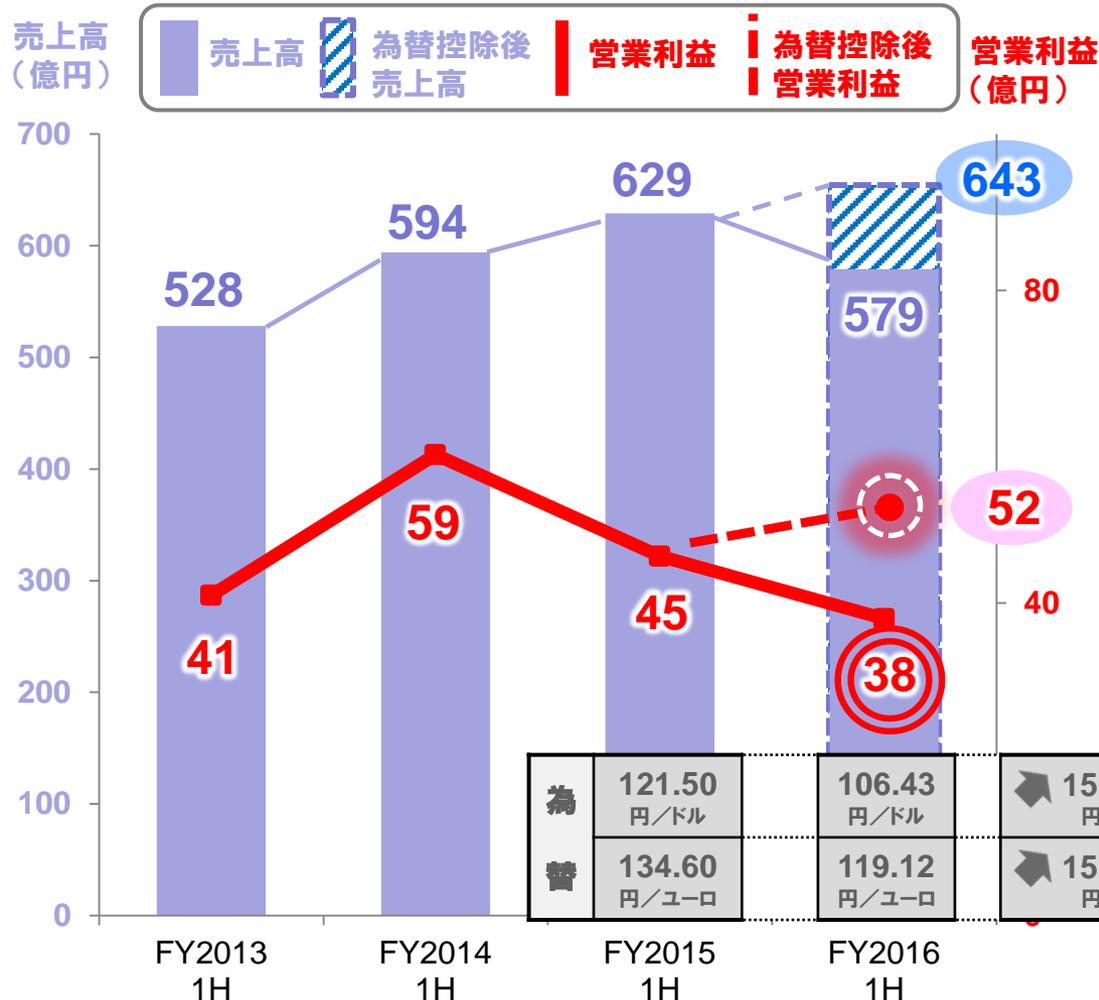
I. 2017年3月期 第2四半期決算報告

I-1. 2017年3月期第2四半期決算報告

I-2. 事業別状況

FY2016 上期の結果 <業績は回復！>

上期業績推移



・大幅な円高により
売上・営業利益減少するも
実質的には増収・増益

・営業利益は
公表値37億円達成

POC: 営業利益144%向上
ICT自動化施工伸長

POC=ポジショニング・カンパニー、SIB=スマートインフラ事業、ECB=アイケア事業

FY2016 上期実績 <実質増収増益>

[連結]	FY2015/1H	FY2016/1H (単位:百万円)					2016年 7月29日 公表値
	実績	実績	前年 同期比	FY15為替レート換算			
				換算値	前年同期比	前年同期%	
売上高	62,933	57,939	△4,994	64,330	1,397	102%	61,000
売上総利益 (売上総利益率)	32,917 (52.3%)	30,220 (52.2%)	△2,697				
販管費	28,451	26,463	△1,988				
営業利益 (営業利益率)	4,466 (7.1%)	3,757 (6.5%)	△709	5,173 (8.0%)	707	116%	3,700 (6.1%)
営業外損益	△600	△1,523	△923	△629	△29		
経常利益	3,866	2,233	△1,633	4,544	678	118%	3,000
特別損益	216	△210	△426	外貨建て債権の評価損 9億円 9/30時点のレート(101.12円/\$) による一時的な評価損失			
税引前利益	4,082	2,023	△2,059				
純利益	2,272	634	△1,638	2,454	182	108%	1,400
中間配当	12円	8円					8円
為替 換算レート (期中平均)	USD	121.50 円	106.43 円	△15.07 円	121.50 円		110円
	EUR	134.60 円	119.12 円	△15.48 円	134.60 円		125円

*2015年度第2四半期においては企業結合の暫定的な会計処理を行っていましたが、2015年度第4四半期に確定しましたので、本資料上は、2015年度の四半期実績について、会計処理が確定した内容を反映して表示しております。

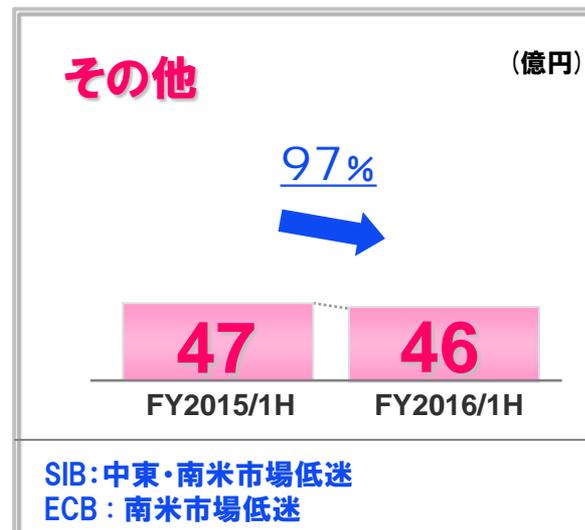
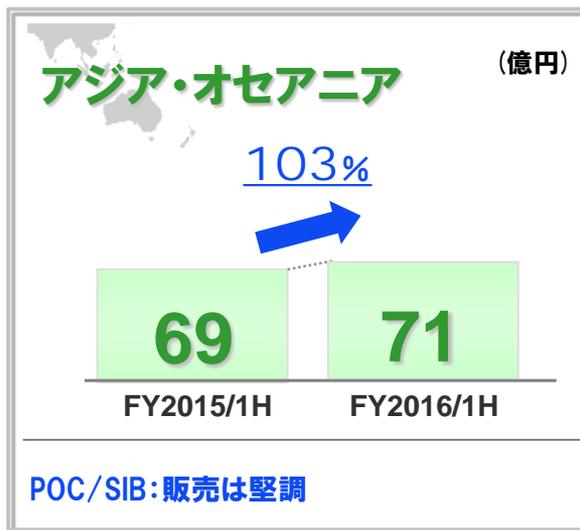
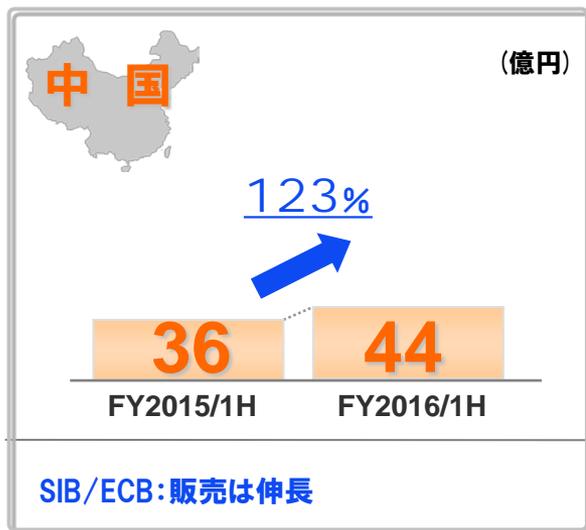
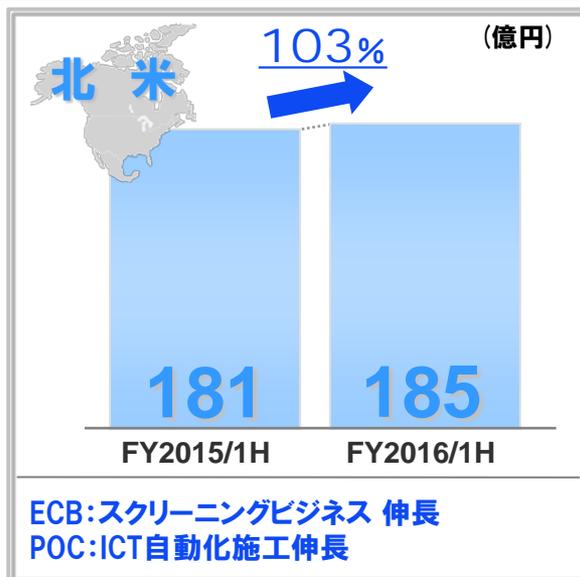
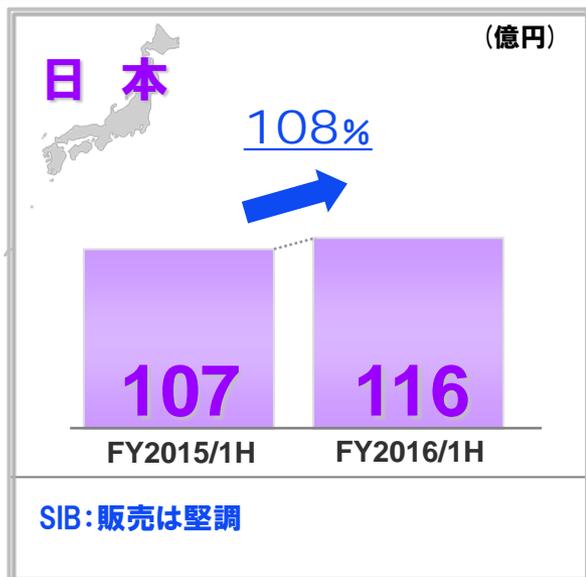
FY2016 上期事業別実績

<ポジショニング業績向上>

(単位:百万円)

[連結]		FY2015/1H	FY2016/1H					2016年 7月29日 公表値
		実績	実績	前年同期比	FY15為替レート換算			
					換算値	前年同期比	前年同期%	
売上高	ポジショニング	31,445	27,166	△4,279	30,938	△507	98%	29,000
	スマートインフラ	16,231	14,958	△1,273	16,176	△55	100%	15,500
	アイケア	19,510	19,611	101	21,708	2,198	111%	20,000
	その他	2,820	1,736	△1,084	1,778	△1,042	63%	2,500
	消去	△7,073	△5,533	1,540	△6,269	804		
	合計	62,933	57,939	△4,994	64,330	1,397	102%	61,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	1,714 (5.5%)	2,472 (9.1%)	758 (144.2%)	2,803 (9.1%)	1,089	164%	1,500
	スマートインフラ	1,883 (11.6%)	1,377 (9.2%)	△506	1,734 (10.7%)	△149	92%	1,500
	アイケア	2,058 (10.6%)	1,269 (6.5%)	△789	2,130 (9.8%)	72	103%	2,000
	その他	94 (3.3%)	△93 (△5.4%)	△187	△91 (△5.2%)	△185	-	0
	調整	△1,284	△1,268	16	△1,401	△117		
	合計	4,466 (7.1%)	3,757 (6.5%)	△709	5,173 (8.0%)	707	116%	3,700

国内・海外売上高 (前年同期比・為替影響を除く)



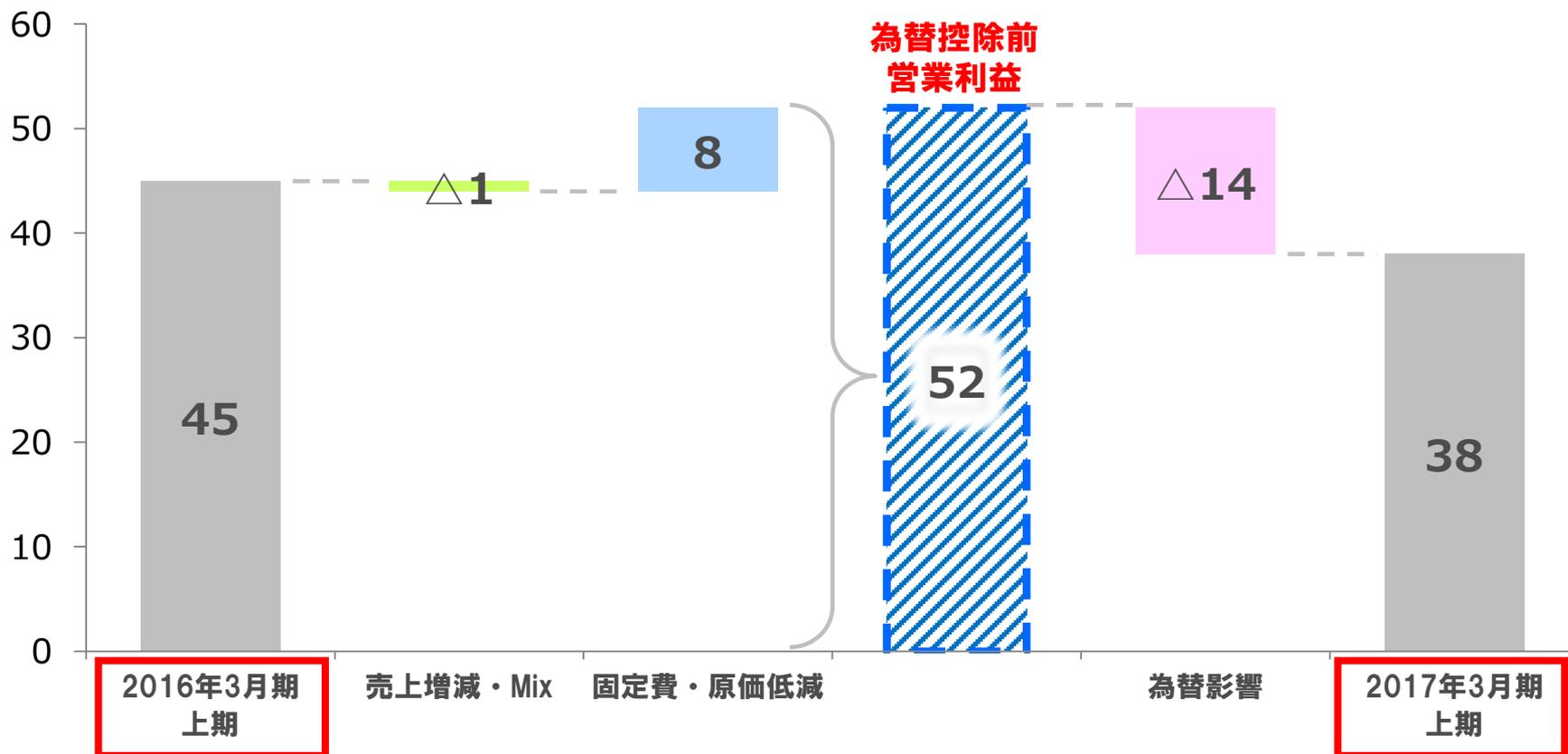
POC=ポジショニング・カンパニー、SIB=スマートインフラ事業、ECB=アイケア事業

FY2016 上期 増減益分析

(営業利益ベース:前年同期比)

<為替影響を除くと増益>

(単位:億円)



FY2016 上期 キャッシュフロー <営業CF大幅改善>

(単位:億円)

[連結]	2015年度 第2四半期累計	2016年度 第2四半期累計	
	実績	実績	前年同期比
営業CF	17	87	70
投資CF	△226	△25	201
フリーCF	△209	62	271

- ◎ 売上債権：78億円削減（対期初）
- ◎ 棚卸資産：25億円削減（対期初）

I. 2017年3月期 第2四半期決算報告

I-1. 2017年3月期第2四半期決算報告

I-2. 事業別状況

全社の状況

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

➤ 業績は回復

- ICT自動化施工伸長、3D OCT-1 Maestro FDA取得による米国販売開始
- 原価低減・固定費削減
POC 営業利益の向上（前年同期比144%）

- ネガティブ・ファクター

➤ 円高の影響

- 売上減：△64億円、営業利益減：△14億円
為替レート：円/ドル 15.07円高、円/ユーロ 15.48円高
（前年同期比）

	FY2015/1H	FY2016/1H				(単位:百万円)
	実績	実績	前年同期比	FY15為替レート換算		2016年7月29日 公表値
				換算値	前年同期比	
売上高	31,445	27,166	86%	30,938	98%	29,000
営業利益 (営業利益率)	1,714 (5.5%)	2,472 (9.1%)	144%	2,803 (9.1%)	164%	1,500 (15.2%)
為替	USD	121.50円	106.43円		△15.07円	110円
	EUR	134.60円	119.12円		△15.48円	125円

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

➤ 営業利益向上

- ・ ICT自動化施工伸長 (前年同期比105%)
- ・ 利益率の向上 (新製品投入)、原価低減・固定費削減の効果大

- ネガティブ・ファクター

➤ IT農業

- ・ 2Qで底打ち感あるも上期では前年同期比減収

	FY2015/1H		FY2016/1H			(単位:百万円)
	実績	実績	前年同期比	FY15為替レート換算		2016年7月29日 公表値
				換算値	前年同期比	
売上高	16,231	14,958	92%	16,176	100%	15,500
営業利益 (営業利益率)	1,883 (11.6%)	1,377 (9.2%)	73%	1,734 (10.7%)	92%	1,500 (9.7%)
為替	USD	121.50円	106.43円		△15.07円	110円
	EUR	134.60円	119.12円		△15.48円	125円

上期業績要因分析

＋ ポジティブ・ファクター

- 国内 i-Constructionの伸長 (前年同期比140%)
- インド市場における販売伸長 (前年同期比130%)

－ ネガティブ・ファクター

- 新型トータルステーション発売遅れ (7月)
- 中東市場の低迷
- 南米市場の低迷

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

	FY2015/1H		FY2016/1H			(単位:百万円)
	実績	実績	前年同期比	FY15為替レート換算		2016年7月29日 公表値
				換算値	前年同期比	
売上高	19,510	19,611	101%	21,708	111%	20,000
営業利益 (営業利益率)	2,058 (10.6%)	1,269 (6.5%)	62%	2,130 (9.8%)	103%	2,000 (10.0%)
為替	USD	121.50円	106.43円	△15.07円		110円
	EUR	134.60円	119.12円	△15.48円		125円

上期業績要因分析

+ ポジティブ・ファクター

- 米国 FDA取得によりMaestro発売（9月より）
- 中国 検眼市場好調、OCT販売伸長（前年同期比130%）

- ネガティブ・ファクター

- MaestroのFDA取得遅れ
- 南米市場の低迷

II. 2017年3月期通期計画

II-1. 2017年3月期通期計画

II-2. 下期以降の注力事項

II-3. まとめ

為替前提の変更に伴うFY2016 通期計画見直し

為替前提の変更

	期初 (4/1~)	変更内容 (10/1~)
対ドル	110円	105円
対ユーロ	125円	115円



計画の見直し

	公表値 (4/28)	変更内容 (10/28)
売上高	1,300億円	1,250億円(前年度比96%) △50億円
営業利益	105億円	95億円(前年度比108%) △10億円

FY2016 通期計画

(単位: 百万円)

[連結]	FY2015		FY2016					2016年 7月29日 公表値
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期			
	実績	実績	実績	前年 同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)	
売上高	62,933	130,735	57,939	92%	125,000	△5,000	96%	130,000
<i>FY15為替レート換算</i>			<i>64,330</i>	<i>102%</i>	<i>139,000</i>		<i>106%</i>	
営業利益 (営業利益率)	4,466 (7.1%)	8,803 (6.7%)	3,757 (6.5%)	84%	9,500 (7.6%)	△1,000	108%	10,500 (8.1%)
<i>FY15為替レート換算</i>			<i>5,173 (8.0%)</i>	<i>116%</i>	<i>12,500 (9.0%)</i>		<i>142%</i>	
経常利益	3,866	7,366	2,233	58%	7,500	△1,500	102%	9,000
当期純利益*1	2,272	4,197	634	28%	4,200	△800	100%	5,000
ROE		6.9%			7.5%			8%
配当	12円	24円	8円		16円			16円
為替換算レート*2 (期中平均)	USD	121.50円	120.16円	106.43円		105.77円		110円
	EUR	134.60円	132.36円	119.12円		117.22円		125円

*1 会計基準の改正により、連結財務諸表では「親会社株主に帰属する当期純利益」と記載されています。

*2 通期計画の為替レートは10月以降105円/ドル、115円/ユーロを前提としております

FY2016 通期計画（事業別）

[連 結]		FY2015		FY2016					2016年 7月29日 公表値
		第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期			
		実績	実績	実績	前年 同期比 (%)	新計画	修正額	前年度比 (%)	
売上高	ポジショニング	31,445	61,977	27,166	86%	56,000	△3,000	90%	59,000
	スマートインフラ	16,231	32,989	14,958	92%	33,000	△500	100%	33,500
	アイケア	19,510	43,834	19,611	101%	44,000	△1,500	100%	45,500
	その他	2,820	4,997	1,736	62%	4,000	△1,000	80%	5,000
	消去	△7,073	△13,063	△5,533		△12,000	1,000		△13,000
	合計	62,933	130,735	57,939	92%	125,000	△5,000	96%	130,000
営業 利益 (営業 利益率)	ポジショニング	1,714 (5.5%)	2,385 (3.8%)	2,472 (9.1%)	144%	4,500 (8.0%)	500	189%	4,000 (6.8%)
	スマートインフラ	1,883 (11.6%)	3,909 (11.8%)	1,377 (9.2%)	73%	3,500 (10.6%)	△500	90%	4,000 (11.9%)
	アイケア	2,058 (10.6%)	4,850 (11.1%)	1,269 (6.5%)	62%	4,000 (9.1%)	△1,000	82%	5,000 (11.0%)
	その他	94 (3.3%)	196 (3.9%)	△93 (△5.4%)	-	0 (0.0%)	△200	-	200 (4.0%)
	調整	△1,284	△2,538	△1,268		△2,500	200		
	合計	4,466 (7.1%)	8,803 (6.7%)	3,757 (6.5%)	84%	9,500 (7.6%)	△1,000	108%	10,500 (8.1%)
	為替換算レート (期中平均)	USD	121.50円	120.16円	106.43円		105.77円		110円
	EUR	134.60円	132.36円	119.12円		117.22円		125円	

II. 2017年3月期通期計画

II-1. 2017年3月期通期計画

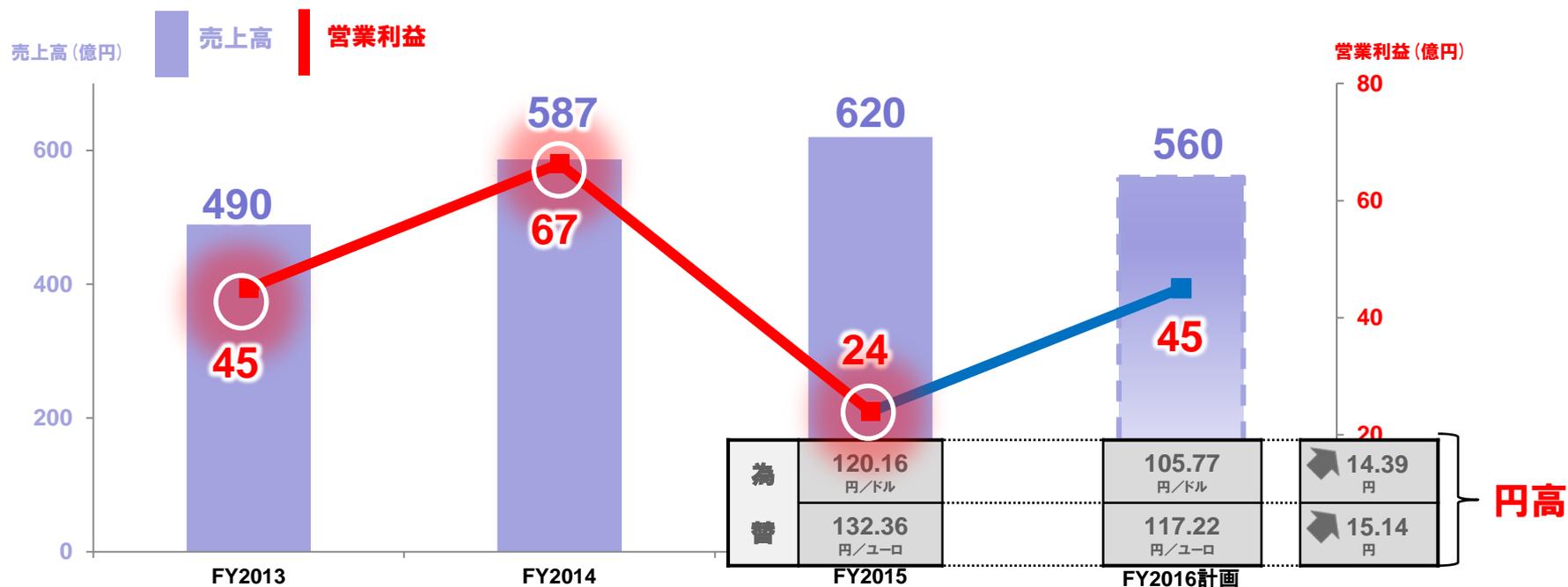
II-2. 下期以降の注力事項

II-3. まとめ

1. ポジショニング

注力事項

- ICT自動化施工: 戦略製品による売上・利益向上
- 経営体質の強化: IT農業の収益性の向上

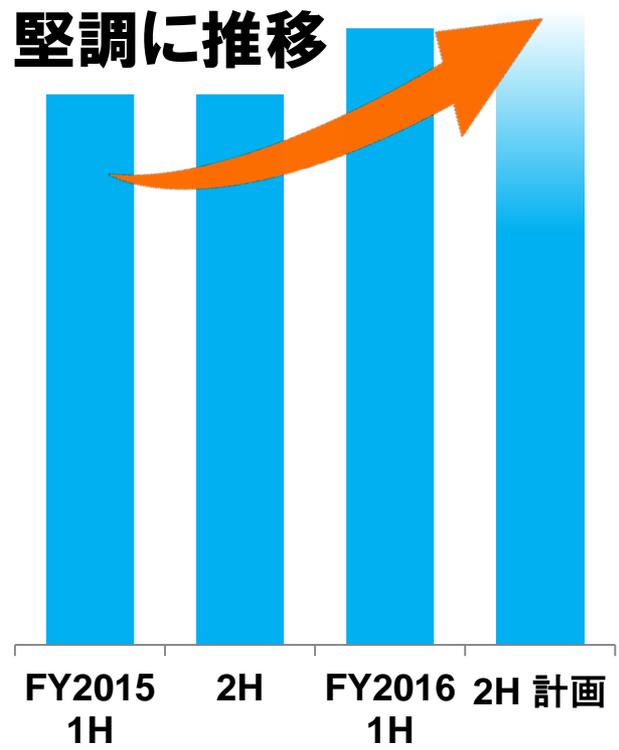


- ・戦略製品マストレスMCシステム好調
- ・利益率向上に貢献

3D-MC^{MAX}
 対応機種数 10 → 30
 *2016年9月時点

従来のDozer用システム

新システム



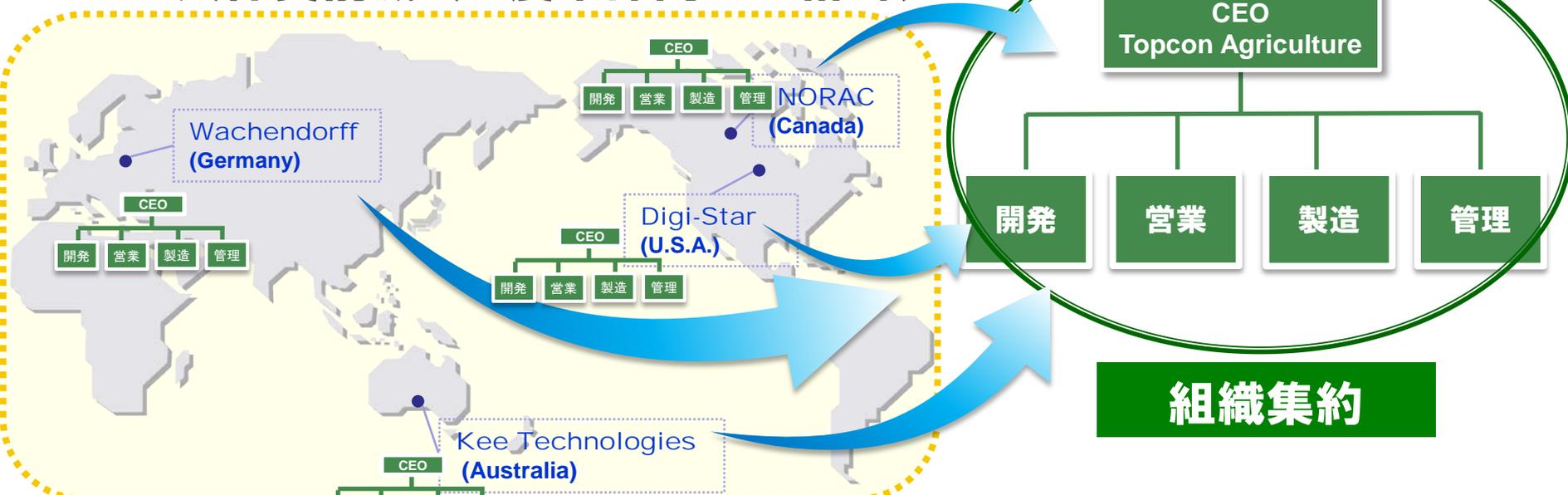
ICT建機売上高推移

売上の安定化

- 第2四半期は**6四半期ぶりに前年同期比プラス**に転じる
- 上期実績は前年同期比で**減収ながらも底打ち感**あり

利益率の向上

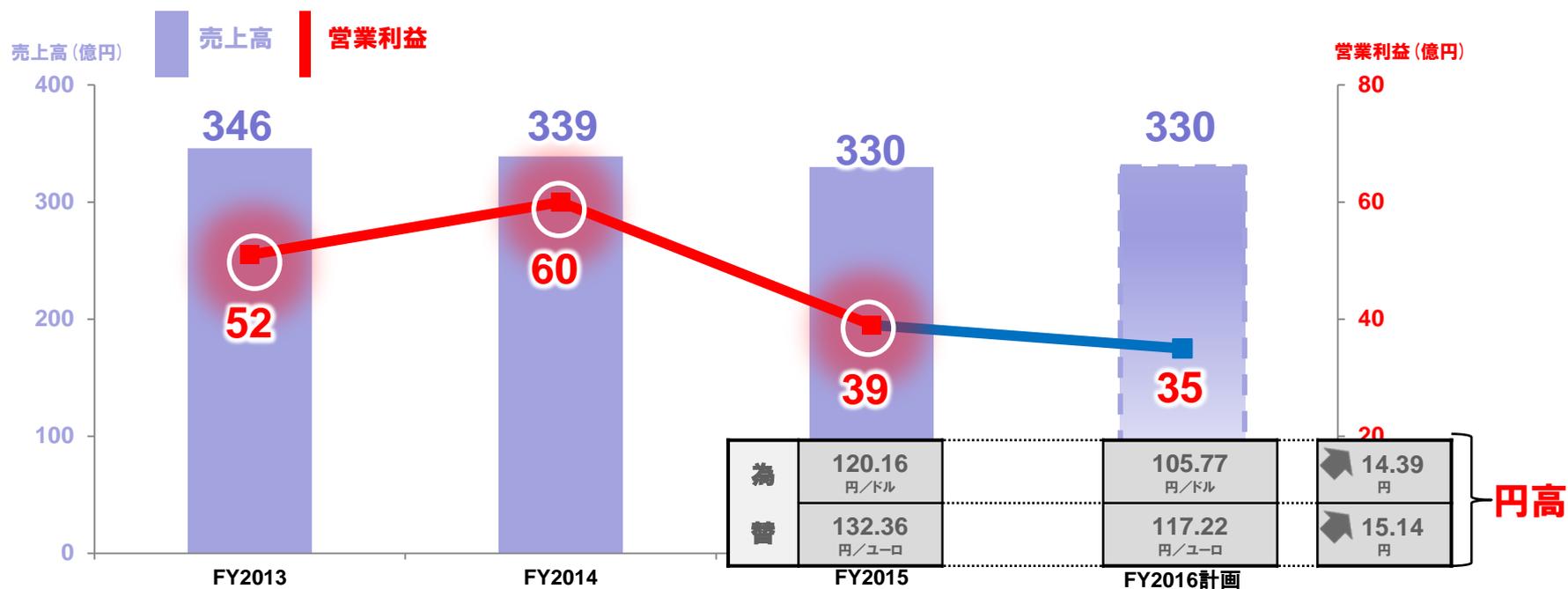
- **組織再編による固定費削減**
 - ・買収4社の組織統合（営業および製品開発）
 - ・人件費削減（IT農業部門15%相当）



2. スマートインフラ

注力事項

- 国内 i-Constructionビジネスの伸長
- 新型トータルステーションの拡販
- 高成長するインド市場でビジネスを伸長



※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

未来投資会議 : 2025年までに建設現場の生産性を20%向上

*首相官邸 日本経済再生本部 (2016年9月開催)

i-Construction 推進による生産性向上

建設現場の
生産性向上

労働力不足
への対応



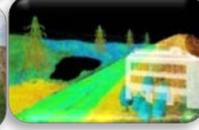
生産性20%向上

3次元測量

3次元設計

ICT施工

出来型検査



測量

設計・施工
計画

施工

検査

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

トプコンの取り組み

施策①

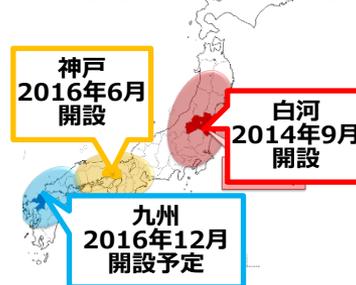
油圧ショベル用
新製品の投入



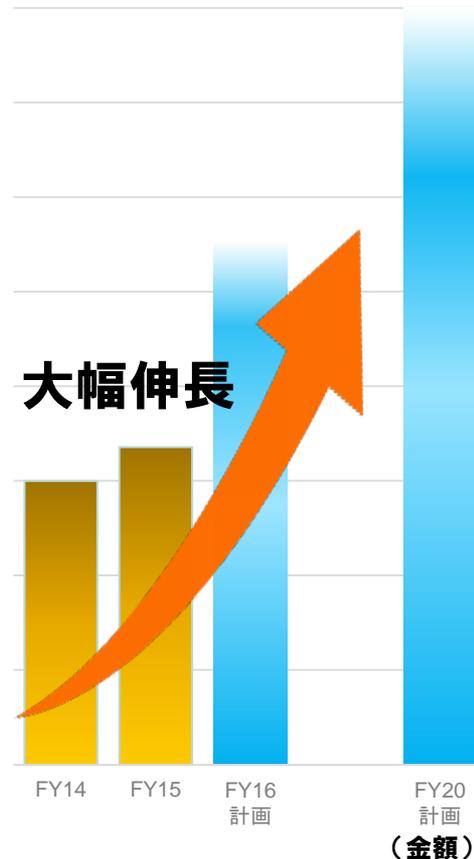
施策②

トレーニング
センターの増設

きめ細かなトレーニング提供



国内ICT自動化施工売上計画



大幅伸長

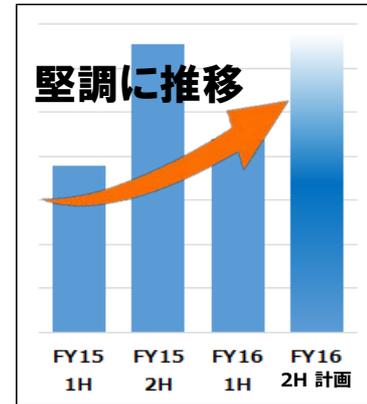
(金額)

シェアの高いトータルステーションで更なる収益性の拡大

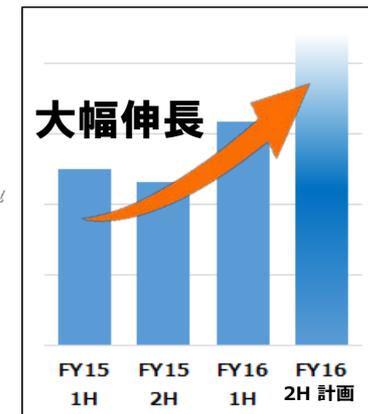
プラットフォームの共通化
(100モデル→10モデル)



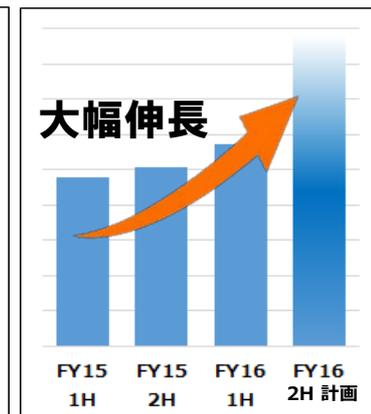
日本市場 (台数)



北米市場 (台数)

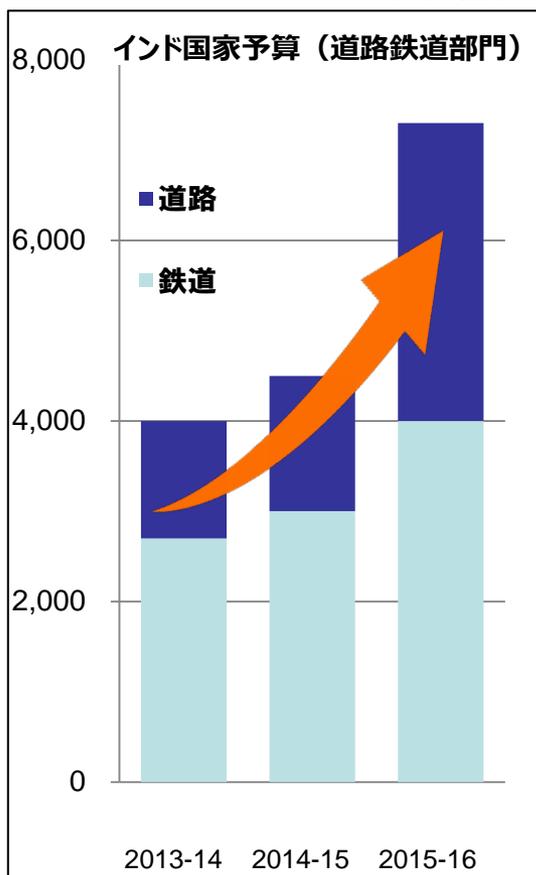


欧州市場 (台数)



新オフィス開設と販売・サポートネットワークの強化!!

加速するインフラ需要 Unit: INR Billion

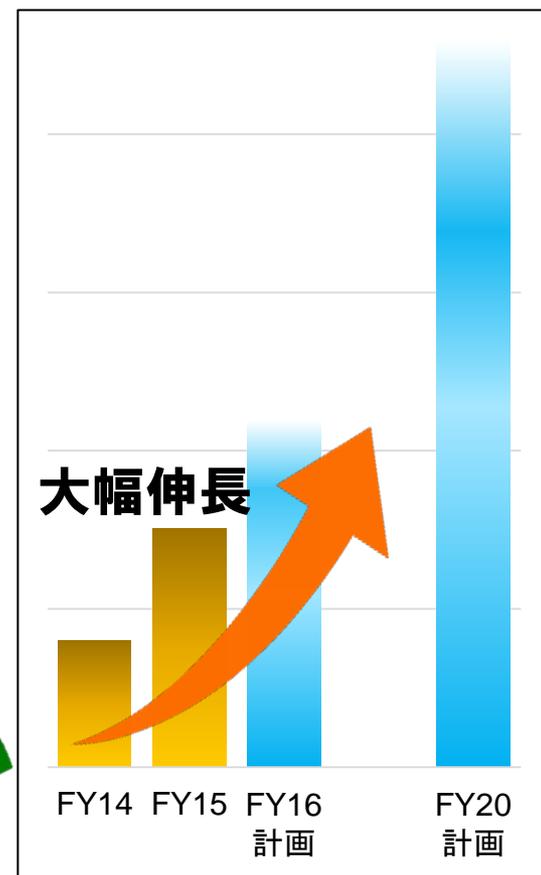


出所: インド財務省



⇒ 高精度・ハイエンド製品の需要を喚起

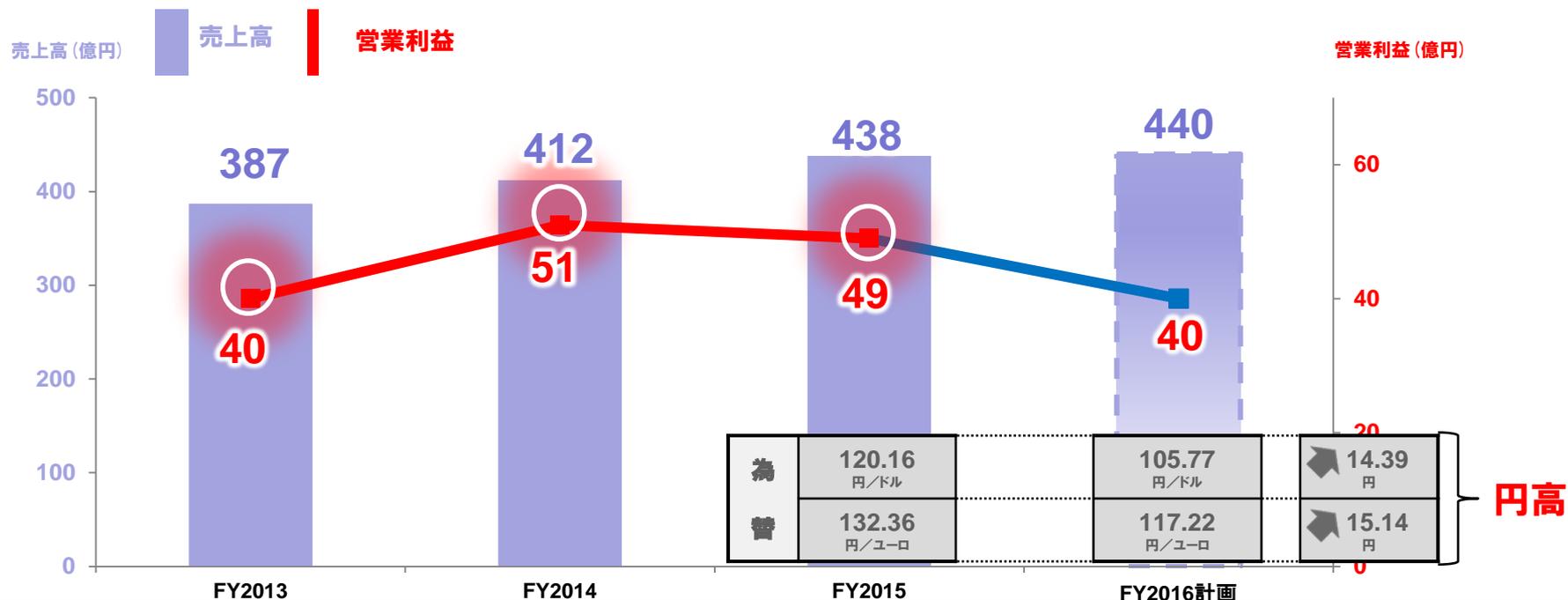
インド売上計画 (金額)



3. アイケア

注力事項

- Maestroの米国FDA認証取得による拡販
- スクリーニングビジネス拡大



FDA510(k) クリアランス取得

2016年9月、**Maestro**を米国市場へ上市

展示会で大反響



OCT総販売台数



9月 世界最大級の眼鏡展示会

Vision Expo West (Las Vegas)

＜オプトメトリスト向け＞

10月 世界最大級の眼科学会**AAO** (Chicago)

＜眼科医向け＞



当社AAOブースOCT展示エリア

AAO: American Academy of Ophthalmology

2016年10月

Carl Zeiss Meditec, Inc., 元 CEO Jim Taylor氏を起用。



ミッション

- 中期計画で掲げた「課金ビジネスモデル」の戦略立案と販売網構築
- 新規市場参入戦略の立案



事業領域の拡大



スクリーニング市場向け 眼底カメラ・OCT

フルオート

**誰でも撮れる
眼底カメラ**



堅調に推移

**スクリーニング機器
TRC-NW400 & Maestro**

FY14 FY15 FY16計画 FY20計画

II. 2017年3月期通期計画

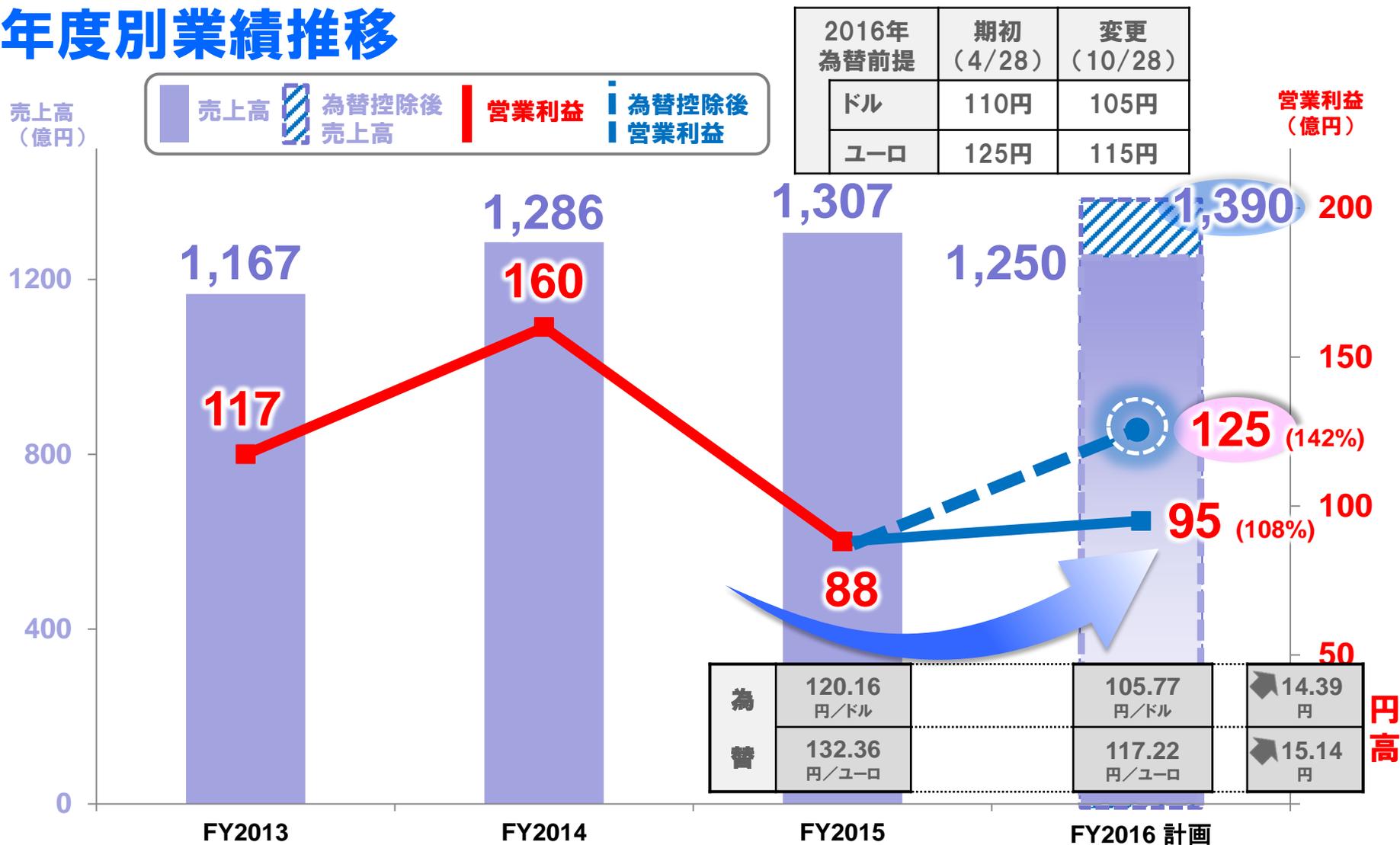
II-1. 2017年3月期通期計画

II-2. 下期以降の注力事項

II-3. まとめ

まとめ

年度別業績推移



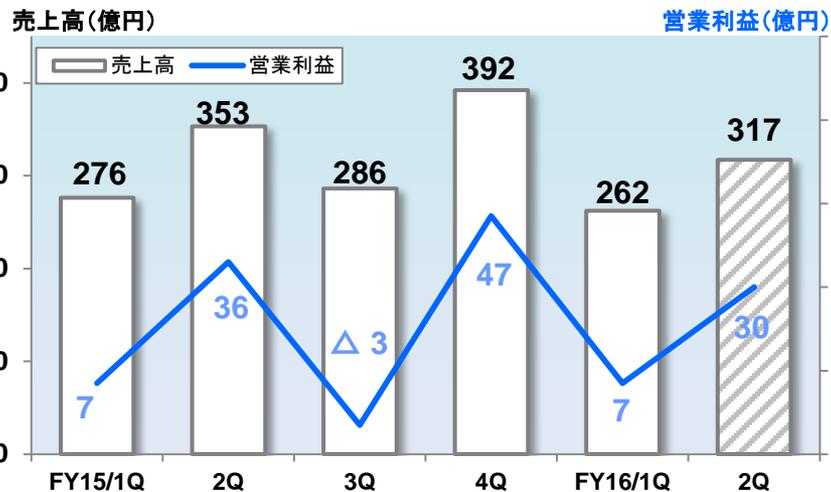
社会的課題を解決し事業を拡大する グローバルカンパニー



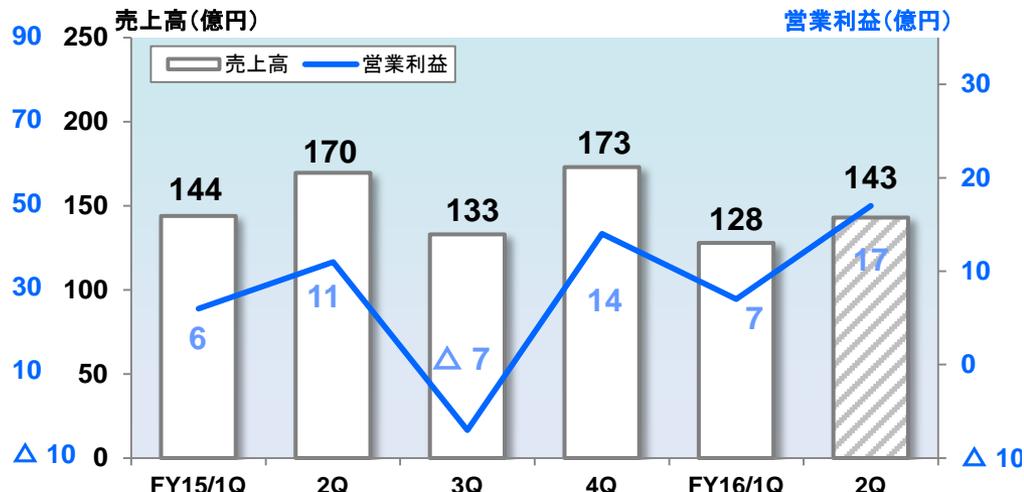
III. 参考資料

四半期別業績推移

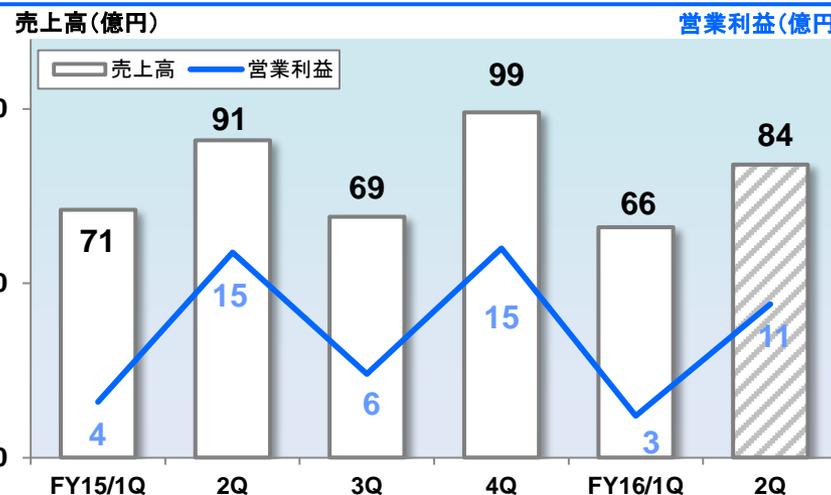
1. 全社



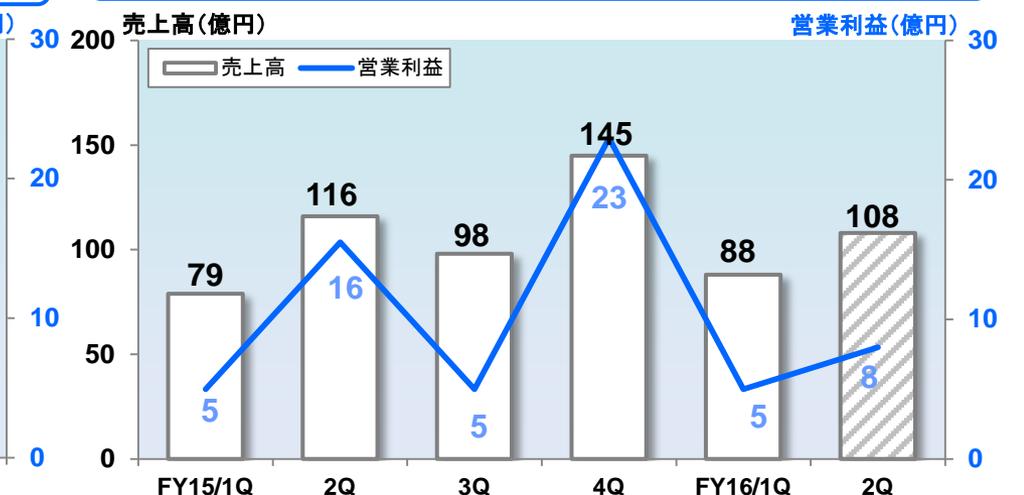
2. ポジショニング



3. スマートインフラ

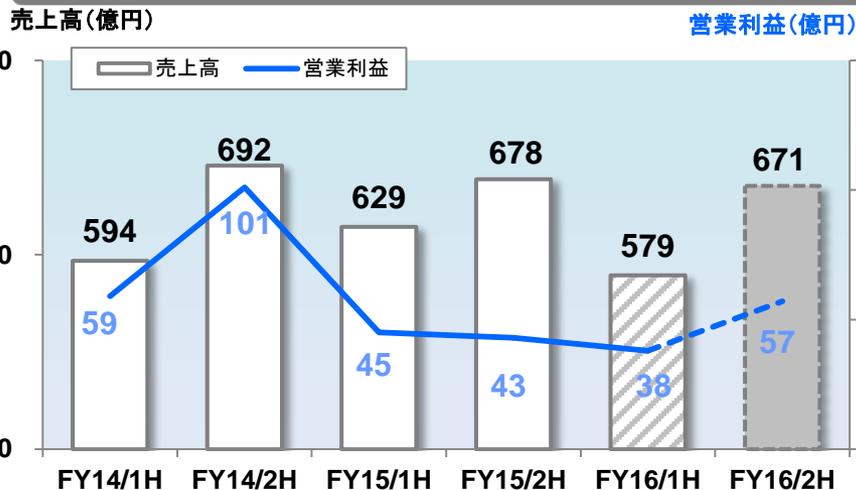


4. アイケア

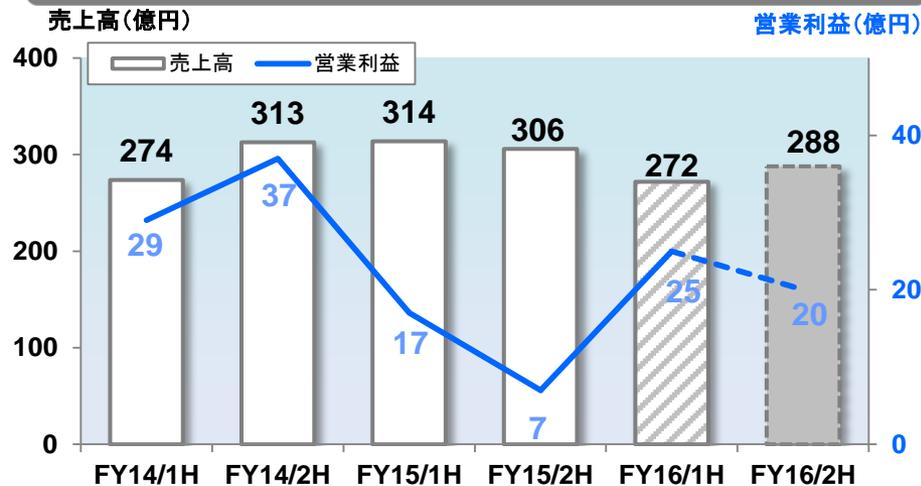


半期別業績推移

1. 全社



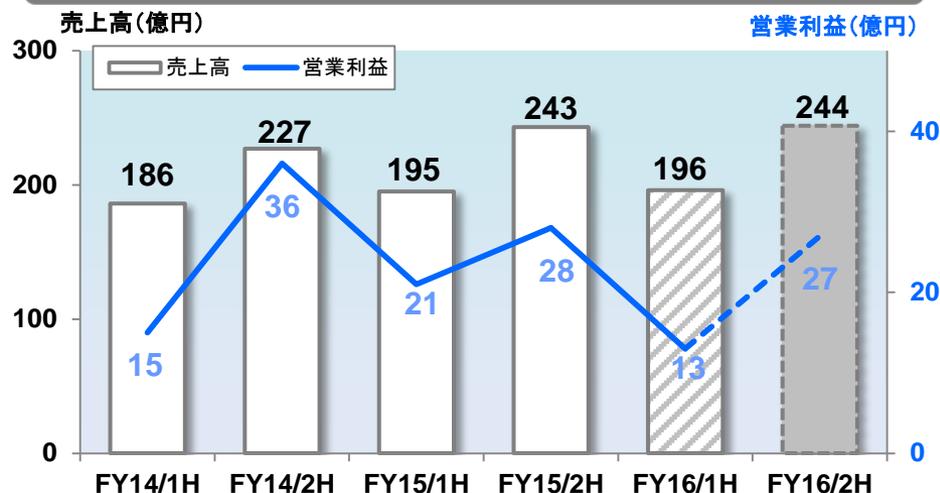
2. ポジショニング



3. スマートインフラ



4. アイケア



当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、計画のもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室 広報・IR・SR部

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <http://www.topcon.co.jp>